

エコアクション21

環境活動レポート

平成19年6月



有限会社 アースウイング

社長

三自（自知、自尊、自発）

三心（感謝、素直、謙虚）

着眼大局、着手小局

熟慮、祈念、放下、断行

縁 活 成 就

企業理念

『環境づくりと人づくり』

私達は身近な生活環境の保全と向上に努め、より快適な地球環境を創造し、時代の変化を的確にとらえ、地域社会の要請に素早く積極的な創意工夫と行動力をもって応え、社会に貢献すると共に、日々謙虚に学び、昨日より今日、今日より明日と成長し続ける地域社会のリーダーたる人材の育成に努め、企業の繁栄と社員及びその家族の幸福の実現に努力する。

経営方針

- 一、私達は、人とのふれあいと笑顔を大切にします。
- 一、私達は、アースウイングに誇りをもって社会に貢献します。
- 一、私達は、アースウイングの繁栄と共に自らの人生を幸福に導きます。
- 一、アースウイングは一つの家族、今日も元気で頑張ろう！

環境方針

<基本理念>

有限会社アースウイングは、より快適な地域環境を常に創造しつつ、地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り次世代へ継承することを企業の使命とし、積極的な創意工夫と行動力をもって循環型社会構築へ貢献する企業活動を推進する。

<行動指針>

有限会社アースウイングは、自ら行なう全ての事業活動を通して、地域環境の保全と向上を目指し継承していく重要性を認識し、全社員で下記の指針を履行します。

1. 事業活動に係わる環境関連法規、条例等を誠実に遵守し、適正業務の推進とともに地域環境の保全と向上に取り組みます。
2. 環境改善目標並びに自主基準を定め、定期的な見直しを行い継続的改善に努め管理向上に取り組みます。
3. 具体的な取組として、次に掲げる項目に取り組みます。
地球温暖化防止のため省エネルギーに努めます。
循環型社会に向け、廃棄物の4R『リディユース(削減)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化)・リフューズ(拒否)』活動に取り組みます。
事務用品等の調達・購買では、グリーン購入及び再生利用に取り組みます。
全員で5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に取組み、快適で働きやすい職場づくりに取り組みます。
4. この環境方針に則り、全社員一人ひとりが、日々考え方行動します。

平成18年 10月 1日

有限会社 アースウイング
代表取締役 岡崎元紀

事業の概要



会社概要

- 社名 有限会社 アースウイング
- 創業 昭和47年3月25日（沼隈衛生有限会社）
平成3年4月6日（社名変更 有限会社アースウイングとなる）
- 資本金 340万円
- 売上高 2億4百万円（平成17年度決算）
- 従業員数 29名（平成19年4月1日現在）
- 事業内容 一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業
資源リサイクル業 凈化槽保守点検及び清掃業
高压洗浄工事業 仮設トイレリース業 リフォーム全般
建設業（土木工事、とび・土工工事、管工事、しゅんせつ工事、水道施設工事） 福山市指定給水装置工事事業者
福山市下水道排水設備指定工事店
ディスポーバー排水処理システム維持管理業者
衛生関連商品の販売（水回り用品から住宅設備機器）
- 本社 〒720-0311 広島県福山市沼隈町大字草深 2785-132
TEL (084) 987-0084 FAX (084) 987-3318
- 役員 代表取締役 岡崎 元紀
取締役 村上 春朝
- 取引銀行 広島銀行千年支店、中国銀行千年支店、備後信用組合千年支店
福山市農業協同組合、広島県信用漁業協同組合連合会
- 沿革 昭和47年 沼隈衛生有限会社を設立
昭和58年 代表取締役に岡崎元紀が就任
平成3年 社名変更により有限会社アースウイングとなる
平成15年 本社移転
平成16年 福山市内海町に支店を設置
平成18年 内海支店閉鎖
- 環境保全関係の責任者及び担当者の連絡先
- 環境管理責任者 副社長 岡崎 晶子
環境事務局担当 総務部部長 川本 浩
電話：(084) 987 - 0084 FAX：(084) 987 - 3318

■ 事業規模

1) 許認可業務

浄化槽保守点検業者	福山市	福 00 第 004 号
浄化槽保守点検業者	広島県	県 60 第 0923 号・
浄化槽清掃業許可	福山市	第 1013 号・
一般廃棄物(液状)収集運搬業許可	福山市	第 217 号・
一般建設業許可	広島県	県知事許可(般-16)第 2729 号 土木工事業 管工事業 水道施設工事業 とび・土工工事業 しゅんせつ工事業
福山市指定給水装置工事事業者	福山市	
福山市下水道排水設備指定工事店	福山市	福山市指令庶第 20 号第 260
ディスポーザ排水処理システム維持管理業者		第 04011058
廃棄物再生事業者	広島県	広島県号第 09006 号
固形状一般廃棄物収集運搬業務	福山市	委託契約

産業廃棄物収集運搬について

管轄	許可番号	事業範囲	許可年月日	許可期限
広島県	第 3407052170 号	<事業の区分> 収集運搬(積替え・保管は含まない) <産業廃棄物の種類> 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず、鉱さい及びがれき類(これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み、自動車等破碎物、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	H.15. 1.27	H.20. 1.20
福山市	第 9110052170 号	<事業の区分> 収集運搬(積替え・保管を含む。) <産業廃棄物の種類> [積替え・保管を含む] 廃油、廃プラスチック類(廃プリント配線板及び廃容器包装を含み、自動車等破碎物を除く) 金属くず(廃プリント配線板、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板及び廃容器包装を含み、自動車等破碎物を除く) [積替え・保管を含まない] 燃え殻(判定基準に適合しないものを除く)、汚泥(判定基準に適合しないものを除く)、廃酸、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず(廃ブラウン管、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み自動車等破碎物を除く。)、鉱さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	H.15. 1.27	H.20. 1.20

2) 設備概要

一般廃棄物 車両		産業廃棄物 車両		浄化槽保守点検 車両	
糞 尿 車	7台	塵芥車	1台	軽四自動車	6台
		ダンプ車	3台		
委託業務 車両		吸引車(ダンパー)	1台	その他 車両	
塵芥車	2台	ヒアブ付ダンプ車	1台	高圧洗浄車	1台
ダンプ車	2台			キャブオーバ	1台

産業廃棄物の積替え保管施設

産業廃棄物の種類	所 在 地	面積	保管上限
廃 油	広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132	12.3 m ²	1.8 m ³
廃プラスチック類	広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132	13.6 m ²	25.8 m ³
金 属 く ず	広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132	11.9 m ²	22.6 m ³

3) 推移状況

活 動 規 模	単位	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
売 上 高	万円	22,751	21,769	20,394
従 業 員 数	人	21	22	26
床 面 積	m ²	619.94	619.94	619.94
汚泥收集運搬(浄化槽)	k l	6,251	6,101	6,605
一般廃棄物(可燃ごみ)	t	2,150	2,050	1,687
産業廃棄物收集運搬	t	6.02	7.82	154.78

4) 産業廃棄物收集運搬料金

収集運搬料金としては、処理料金 + 収集運搬手数料となっています。

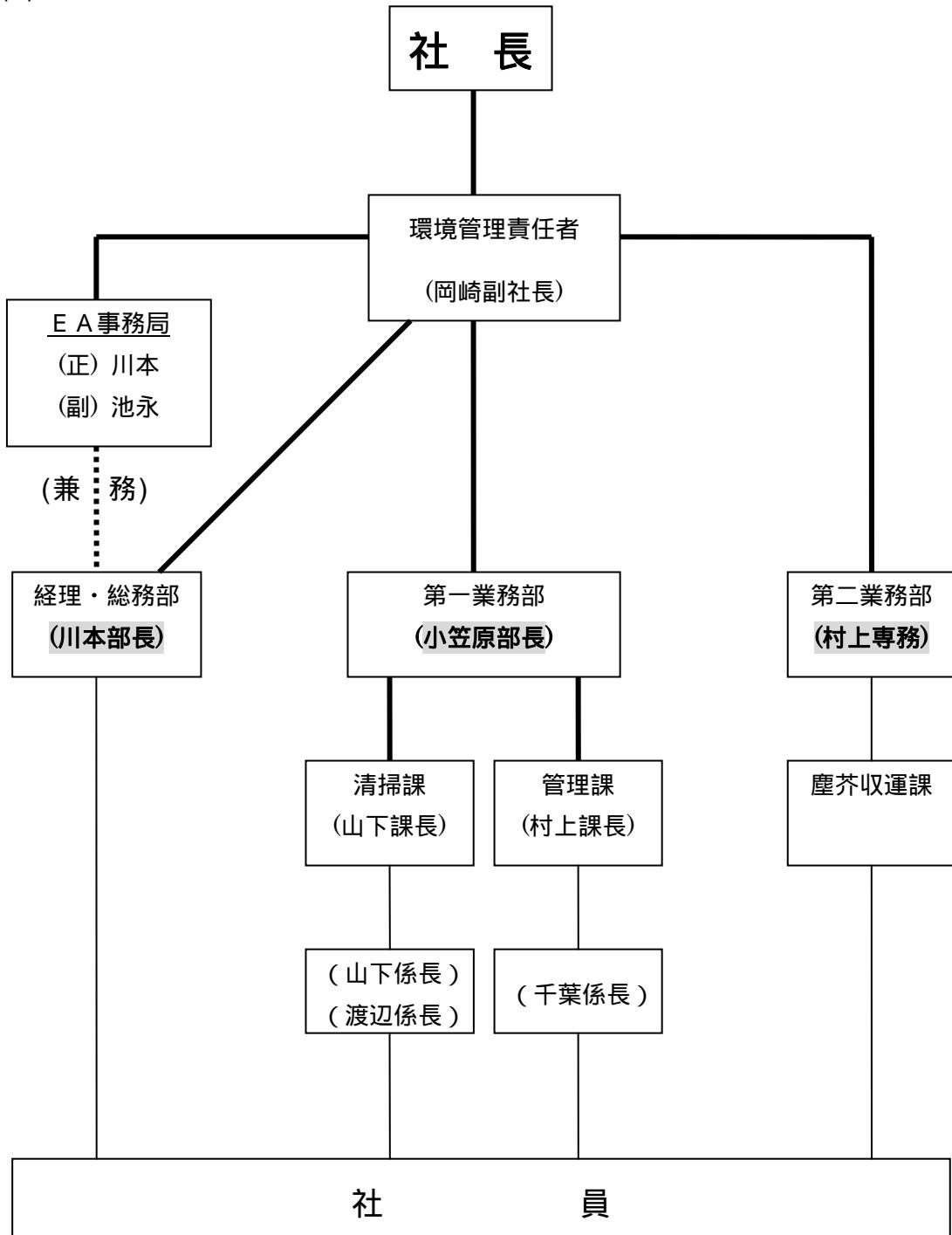
なお、収集量・収集頻度・収集運搬距離等により収集運搬手数料を計算させていただきます。(無料にて御見積いたします。) 連絡先 (084) 987-0084

処理料金(変動性)事例

廃プラスチック類	50 円/kg ~	+ 収集運搬手数料
木 く ず	15 円/kg ~	
コンクリートがら	18 円/kg ~	
瓦、レンガがら	40 円/kg ~	
アスファルトがら	18 円/kg ~	
石膏ボードがら	21 円/kg ~	
廃 油	63 円/kg ~	

実施体制

(1) 組織図



強調文字は各部門長

(2) 環境目標とその実績

当社では、「エコアクション 21 2004 年版 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」を元に、過去 2 年間の実績数値や取組状況などから環境目標を定め、2006 年 10 月から活動を開始しました。

過去のデータ(数値が把握できたもののみ)

環境負荷項目	単位	2004年度	2005年度
電力使用量	kWh	30,467	30,478
軽油使用量	ℓ	37,158	38,479
ガソリン使用量	ℓ	8,662	9,590
C O2 排出量	Kg-CO2	117,625	134,767
水使用量	m ³	645	1,401
一般廃棄物排出量	kg	-	-

環境数値目標

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	単位	基準値 (2005年度) (10月～3月)	2006年度 (10月～3月)	2007年度	2008年度
省エネルギー	電力の省エネ	kwh	30,478 (16,011)	15,210(5%)	27,735(9%)	26,821(12%)
	化石燃料削減(軽油)	ℓ	38,479 (17,840)	17,305(3%)	36,555(5%)	35,786(7%)
	化石燃料削減(ガソリン)	ℓ	9,590 (4,270)	4,142(3%)	9,111(5%)	8,919(7%)
	CO2 排出量	Kg-CO2	134,767 (62,782)	60,779	127,569	124,759
省資源	節水	m ³	1,401 (818)	777(5%)	1,289(8%)	1,261(10%)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	kg	2006年度実績値	現状把握	(3%)	(5%)

廃棄物の排出量は 2005 年度の実績値が無い為、2006 年度は現状把握とします。

2006 年度目標数値は、2006 年 10 月～2007 年 3 月の間で設定し、基準値は 2005 年度 10 月～3 月の実績値とします。

活動実績 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

環境目標	単位	目標値	実績値	目標との差異・評価
電力使用量	kWh	15,210	14,751	-459 ()
化石燃料使用量	軽油	17,305	17,839.8	+534.8 (×)
	ガソリン	4,142	4,269.7	+127.7 (×)
C O2 排出量(合計)	Kg-CO2	60,779.90	62,306.37	+1,526.47 (×)
廃棄物搬出量	kg	現状把握	1,213	
水使用量	m ³	777	872	+ 207 (×)

(3) 主要な活動計画の内容

1) 省エネルギー(電力・軽油・ガソリン)

電力使用量の削減

- ア) 温度計を設置しエアコンの温度管理を実施する。 (室温 25)
- イ) 窓の開閉による温度調整を実施する。
- ウ) 定期的な清掃及びメンテナンスを行う。
(エアコンフィルター清掃は 8月/12月)
- エ) 不要時の電源は OFF にする。 (パソコン・照明)
- オ) 複合機の待機電力の節減を行う。 (節電モードの設定)
- カ) 昼休み及び朝夕の照明を節減する。 (必要部署以外は消灯)
- キ) 管選別機の使用時は、無駄な空運転を取りやめ、必要最低限の運転とする。

化石燃料(軽油及びガソリン)使用量の削減

- ア) 急発進、急加速を抑制する。
- イ) 適正な積載量での運搬を行う。
- ウ) 不要時のアイドリングストップを実施する。
- エ) エコドライブ運動を実施する。
- オ) 定期的な車両整備(オイル・エレメントやタイヤの交換)を行う。
- カ) 日常の車両点検を徹底する。
- キ) 収集運搬コースは最短距離及び最良コースを心がける。

2) 廃棄物の排出抑制及び資源化の徹底

廃棄物の発生の抑制に心がける。

決められた排出場所に、廃棄物の分別を徹底し、抑制を心がける。

裏紙の有効利用を徹底する。

使用済み封筒を再利用する。

シュレッダー処理は機密文書及び個人情報に関わるものだけに限る。

その他の紙類は資源ごみとして排出する。

事務用消耗品等を購入の際はエコ商品を優先して購入する。

3) 水使用量の抑制

手洗い場等の見回りをし、閉め忘れ等の確認を行う。

車両の清掃を行う際は節水を心がける。 (日常的に清掃を実施)

業務部で使用する水(浄化槽清掃時及び高圧洗浄作業時)は雨水を有効利用し、処理場での処理水が利用可能な場合は有効活用していく。

5) 環境奉仕活動

当社では毎月第2第4の木曜日に事務所周辺の道路を、朝8時より清掃活動を行っています。(自由参加)



6) 一般廃棄物（資源ごみ）の処理の流れ

当社から排出される廃棄物の内、段ボール・新聞紙・雑誌・オフィス古紙・アルミ缶・スチール缶に関しては、下記の流れで処理されリサイクル原料に加工されています。

リサイクルの流れ（フロー）

< 収集運搬業者 >

段ボール

〔圧縮・梱包処理〕



< 中間処理業者 >

製紙メーカー

（製紙原料として使用）

新聞紙

〔圧縮・梱包処理〕



製紙メーカー

（製紙原料として使用）

雑誌

〔圧縮・梱包処理〕



製紙メーカー

（製紙原料として使用）

オフィス古紙

（シュレッダー品含む）

〔圧縮・梱包処理〕



製紙メーカー

（製紙原料として使用）

アルミ缶

〔圧縮処理〕



二次合金メーカー

（アルミ原料として使用）

スチール缶

〔圧縮処理〕



製鋼メーカー

（製鋼原料として使用）

(4) 環境活動の取組評価

<取組期間> 平成17年10月1日 ~ 平成18年 3月31日

<取組評価>

電 力 使 用 量	実際の取組を始めてからは、ほぼ目標をクリアできている。当初より、無駄な蛍光灯の取り外しを実施し、後半は事務所内のレイアウトも大幅に見直しを実施し、照明器具の節電を実施した結果が良かったのではないかと思います。さらには複合機の待機モードの設定をし、こまめな見回りをして、無駄な電気や換気扇の電源を OFF にしていく活動をすることで節電が行えました。
化 石 燃 料 使 用 量	燃料の削減に関しては、仕事量との兼ね合いが強い為、当初は厳しい状況ではありましたが、社員一人ひとりの意識で、12月1月以外は目標達成が出来ました。業務量にどうしても左右されやすい為、今後も更なる取り組みが必要です。
C O ₂ 排出量	電力使用量の削減のみが、目標達成しただけの結果に終わり、二酸化炭素排出量としては、削減することが出来ませんでした。
一般廃棄物排出量	一般廃棄物排出量は、過去の実績値が無い為、2006年度は現状把握を行いました。 なお、取組状況は次の通りです。 一般廃棄物を分別し、分別品目ごとにごみ置場を設置し、徹底した分別管理を実施しました。また、資源ごみの分別を徹底して有価物として売却することにより、処理量の削減と経費の削減が出来、売上にも繋がる結果となりました。 コピー用紙の裏紙の使用は以前より行っていましたが、今年度にプリンターを1台増設しましたので、今後はさらに裏紙使用率を向上させ、またオフィス古紙の削減に取り組んでいきます。
水 道 使 用 量	水の使用についても、業務との関連性が強く、業務の状況により変化していく為、節水という観点だけではなかなか難しい面であったが、日常使用するトイレや手洗い時の節水、並びに雨水を少しではあるが利用することにより削減に向けての取り組みが出来ました。
グリーン購入の推進	現在すでに、名刺、コピー用紙は100%再生紙を使用しています。更には、事務用消耗品等に関しては購入時にエコ商品や再生紙、パルプ使用率等を優先した購入を実施しています。

(5) 環境コミュニケーション

当社では従来、お客様よりの情報を元にクレーム報告書という形で、社内で再発防止を全員で検討してきました。

今回より、環境に関わる様々な問題点や情報に関しては、コミュニケーション記録を使用して検討し、問題解決を行っていき、地球環境の保全向上に寄与していき、お客様、社員、家族の幸せを創造していきます。

(6) 関連法規への違反、訴訟などの有無

当社では、環境関連法規への違反はありません。なお、環境関連法規に関して過去5年間において関係機関からの指導や指摘などはありませんでした。

また、関連して訴訟等は同様に一切ありませんでした。